

南国市立図書館キャラクター
いぬ ほんた としよ犬 本太

ぽんたより 図書館だより No.73

南国市立図書館
開館 (火)～(金) 10:00～18:00
(土)・(日) 10:00～17:00
7月休館日 毎週(月)、31日
住所 南国市篠原 1801-5
電話 088-863-0469

お知らせ

6月28日(土)～7月30日(水)

“七色の作家”やなせたかしの世界

やなせ先生の功績や、高知のキャラクターたちを紹介するパネルを展示します。本と一緒にぜひお楽しみください。



南国市立図書館 職員が選ぶ！ 今月のオススメ新刊



池上彰/監修
SNSにおける誹謗中傷や闇バイト、フェイクニュースなどの問題を図解やイラストを用いて分かりやすく解説。トラブルを未然に防ぐ方法が書かれています。



本間節子/監修
いちごソルベやしょうがと甘酒を使ったジェラート、紅茶のジェラートなど…。季節の果物や野菜、好きなドリンクで作るジェラートを紹介します。



偏愛はな子/著
静岡県の新井旅館や福島県の向瀧など、国の登録文化財に指定されている日本各地の温泉宿やホテル、旅館を写真付きで多数紹介しています。

新刊のご紹介 毎月約300冊の新刊が入ってます

一般	児童
先延ばしグセ、やめられました! 中島 美鈴/著 四国歩き遍路マニュアル 中野 周平/著 科学メガネ読本 池内 了/著 僕には鳥の言葉がわかる 鈴木 俊貴/著	薬に頼らずのびのび育てる! こども薬膳 さとう あい/著 捨てないレシピ 小嶋 絵美/著 醬の発酵料理帖 清水 紫織/著 コンテナ菜園の完全攻略レシピ 淡野 一郎/著
	パンダのおさじとせっけんパンダ 柴田 ケイコ/作 大ピンチずかん3 鈴木 のりたけ/作 しょうがのしょうこちゃん ひらお ふみほ/作・絵 100ぴきつなひき 矢野 アケミ/作・絵 どろぼうジャンボリ 阿部 結/作 ぼくのねこポー 岩瀬 成子/作 世界をつくる数のはなし 横山 明日希/監修

おはなし会へいらっしやい!

予約不要、3階多目的室へお気軽にお越しください。

あかちゃんのへや
*0～2歳児対象
毎月第2木 10:30～10:50

土曜のおはなし会
*3歳児以上対象
毎週出 10:15～10:45

※おはなし会は休止する場合があります。

図書館ホームページ

- ・利用案内・アクセス
- ・図書館だより
- ・図書館要覧 など



本の検索など

- ・本の検索・新刊紹介
- ・カレンダー
- ・行事予定



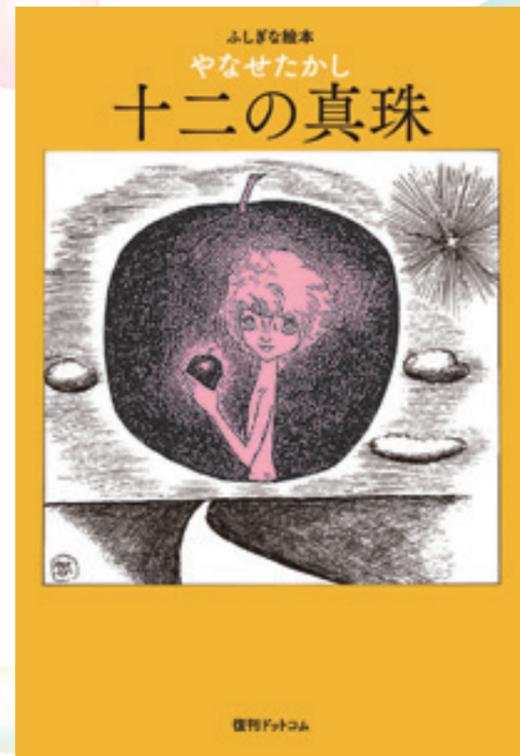
7月の企画展示 「これが、大阪。」など

とち 7月の十市出張図書館

日時/7月9日(水) 13:30～14:30
場所/十市高齢者多世代交流プラザ 1階和室

第13回 ON AIR

ごめん ありがとう情報局



やなせたかし先生の代表作・アンパンマンがアニメ化されたのは1980年。その18年前の1970年、山梨シルクセンター(現・株式会社サンリオ)から出版された「十二の真珠」という短編メルヘン集があります。元々は1969年1月から12月に「PHP」という雑誌に1年間連載された短編童話で、連載が完了した時に単行本にしたものです。

十二の真珠を並べたような十二篇の童話を書きたいと、最終回は「十二の真珠」というタイトルにすることも決めて、やなせ先生が書いた作品です。単行本は何度か版を重ねた後しばらく再版されていませんでしたが、1990年にサンリオからさらさら2012年には新たに復刊ドットコムから復刊されています。

絶望と希望、人間の愚かさなどが表現された12作品。やなせ先生が「その後の作品の基本形はすべてこの十二篇の中に含まれている。」と語る一冊を読んでもみませんか。「十二の真珠」は南国市立図書館で借りることができます。

十二の真珠(2012年10月出版)復刊ドットコム
著者 やなせたかし収録作品

1	バラの花とジョー	7	星の絵
2	クシャラ姫	8	風の歌
3	天使チオバラニ	9	デングリ蛙とラスト蛇
4	チリンの鈴	10	ジャンボとバルー
5	アンナ・カバレリイナのはないき	11	キュラキュラの血
6	アンパンマン	12	十二の真珠

本編以外からも感じられる「喜びがいっぱい」

まえがき
2012年に発刊された「十二の真珠」には3つの「まえがき」があります。1970年の「まえがき」、1990年の「新しいまえがき」、そして2012年の「アンパンマンの原点になった本」です。中でも「まえがき」はやなせ先生のユーモアがいっぱい。

「あるところに、ヤルセ・ナカスという、まったく不流行のマンガ家がありました。ヤルセ・ナカスなどといういやらしいペンネームがいけなかったのかもしれない。」

という冒頭で始まり、当時の不遇を笑いに変えつつ、風刺が込められているように感じます。

目次
「12の話の表題と内容」として、それぞれの童話の概要が紹介されています。そこに添えられている文章もくすくすと笑える一文です。

「この本を読もうとして、つとむばやく内容を知りたいひと、また、読まないで批評文をかこうとする人のための親切なガイド、あるいは血わき肉おどる予告篇であります。」

あとがき
家族との別れや戦争体験を経て形成されたやなせ先生の人生観や善悪の価値観が読み取れる12作品。その「あとがき」も期待を裏切らない、やなせ節。そしてやなせ先生が1970年に書いた解説文には、アンパンマンが世の中に認められる前の思いや、やなせ先生の父・清さんの言葉から着想を得て書いたことなどが記されています。その部を「紹介」します。

アンパンマン
「大変無格好なスーパーマンの話、これも本当はもう少し長いストーリーにしたかったのです。これも自分ではわりあい好きな話ですが、アンパンというのはいまはもう子供味の味覚の人気者ではないようですね。残念です。」

十二の真珠
「はじめから、最後の話の題はきまっていたのです。しかしストーリーは最初に考えたものともまったく違うものになりました。キララ博士は悪人のようですが、実はこの程度は普通の人のなのです。」



「十二の真珠」に記載されている「略歴」

銀河系宇宙の片隅に生まれる
職業 人間業
著書 愛する歌1・2・3集
賞 昭和42年週刊朝日マンガ賞(ボオ氏)
昭和44年毎日新聞映画コンクール大藤賞(やさしいライオン)
あとノーベル賞とかレーニン賞とかいろいろもらう予定
罰 残念ながらナシ 将来は未定 (1970年 現在)

略歴紹介
著者の略歴紹介からもユーモアを感じられます。この頃から変わらず、人を笑わせる、喜ばせることが幸せというやなせ先生らしい略歴紹介です。